

## （寄せ植え）とは

寄せ植えとは、ひとつの土に複数の植物を植えることです。ひとつの鉢で複数の植物が楽しめ、個性を出した鉢が作れる反面、複数の植物の育ち方や適する土や肥料を把握しておかなくてはならないなど技量や知識が試される植え方でもあります。

## （寄せ植え作りの考え方）

寄せ植えのコンテナガーデンを作る前に、まず最初に考えなければならないのは、「その寄せ植えをどこに置くのか」ということです。それによって花色使いや環境に合う植物選びが大事です。

## （土の選び方）

寄せ植えで、最も大切なものの1つが土です。庭でよく育つからといって、その土をそのまま入れても植物はうまくそだちません。鉢植えでは空間が限られていますから、植物に必要な酸素や栄養素が限定されてしまうからです。市販の培養土をつかきましょう。

## （植物の選び方）

植物の持ち味を生かすには、素材を深く知らなければなりません。ツル性なのか直立性だとか雨が苦手なのか日光が好きなのか。

長く楽しめる植物を選びましょう

枠にはまらず、エンターテインメント性を

## （寄せ植え作りの基本）

植物を植え込むときに心がけてほしいことは「ぎっしり」植えるということ。ぎっしり混んだ状態の中で、互いに切磋琢磨して育った植物がつくり出す造形こそが面白いのです。

## 苗と鉢のバランスを見る

### 苗の間に土を入れる

苗と苗の間に土を入れ込み、水やりをすれば完成。その後は液体肥料を10日に1度程度やると花が長持ちします。

## （寄せ植えのメンテナンス）

寄せ植えを美しく保つためには手入れが必須です。日々の水や花がら摘みに加え、定期的な切り戻しや花後の植物をケアすることによっていつまでも長期間美しく寄せ植えを保てます。

## （水やり）

基本的に、コンテナの土の表面が乾いたら、鉢底から水が染み出してくるくらいたっぷり水を与えます。その際、花や葉にかからないよう、なるべく根元にだけ水をやるようにしましょう。

## （花がら摘み）

枯れた花や葉っぱは、こまめに摘み取ってください。枯れた花をそのままにしておくと、タネができて株が弱る原因にもなります。

## （切り戻し）

夏の酷暑などによって、これまで盛大に咲いていた花の勢いが一時的に弱まることがあります。そうしたときには、一度花首を短く刈り込んだり切ったりすると、再び秋になって素晴らしい花を咲かせてくれるものがあります。